

2026年度(令和8年度)学校評価自己評価表

大成館中学校区	校番 28	福山市立神村小学校
最終更新日		2026年(令和8年)4月1日

I 福山市

めざす姿	すべての子どもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各校が特色のある取組をしているので、継続してほしい。</li> <li>積極的な情報発信をしていたいただき、校区や各校の課題や目標を保護者・地域で共有しながら協力して学校づくりを行っていきましょう。</li> <li>長期欠席児童生徒やヤングケアラーの疑いのある児童生徒の対応を、今後もきめ細やかに取り組んでほしい。</li> </ul>	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力調査の意識調査は改善傾向にあるが、学力の定着に課題がある。</li> <li>主体的に取り組む児童・生徒が多くなっているが、自ら学ぶ力や自己表現力に課題がある。</li> <li>長期欠席者の減少の取組を進めていく必要がある。</li> </ul>	<p>育成する資質・能力</p> <p>めざす子ども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>【自らへの自信】 【主体性】 【自己表現力】</p> <p>自らに自信をもち、自己表現力が高く、主体性をもって、自ら進路を切り拓く子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的な学び」の授業づくりや家庭学習を含めた学習習慣づくりに取り組み、学力を向上させる。</li> <li>「自分で選び・決める活動」「あいさつ」に取り組み、主体性や自己表現力を向上させる。</li> </ul> <p>⇒①学力向上 ②不登校減少 ③あいさつ向上</p>
--	--	--	---

III 自校

<p>学校教育目標</p> <p>心豊かに自立・貢献・感謝する児童の育成</p>
--

<p>現 状</p> <p>&lt;児童生徒&gt;</p> <p>○主体的な学びや活動を通して、児童の自己肯定感が高まり、学力向上、長期欠席者の減少などの課題が少しずつ改善してきた。</p> <p>●本年度も、学力向上、長期欠席者の減少が課題である。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>○2つの「教材研究」の取組を通して、これまでよりも、つまずきを把握し、児童一人一人の実態に応じた授業が徐々に展開できるようになった。</p> <p>●「学力向上」を目指し、さらに、教材研究に取り組む必要がある。</p> <p>また、授業の中で、温かい人間関係を育んでいきたい。</p>
--

<p>育成する資質・能力</p> <p>めざす子ども像</p>	<p>【自らへの自信】 【主体性】 【自己表現力】</p> <p>自らに自信をもち、自己表現力が高く、主体性をもって、自ら進路を切り拓く子ども</p>
<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>子ども主体の学びの創造</p> <p>内容等</p> <p>一算数科の教材分析シートの作成を通して一 ☆2つの「教材研究」の取組☆ ①児童の「つまずき」の分析 ②教材分析ノートの作成 ☆導入・問題提示の工夫 ☆思考過程を残す指導(計算の足跡、図、表、数直線等) ☆共に高まり合う学習集団づくり ☆家庭学習の充実を図る工夫 ・ポートフォリオ実践発表研修会の取組</p>	<p>めざす授業の姿</p> <p>【めざす授業】・学力向上をめざした授業 ・不登校減少を目指した授業や活動 【合言葉】学校は励ますところだ大作戦2026 「キミの挑戦、みんなでYELL！」 一「ほめて、認めて、励ます」指導に貫かれた神村小学校一 【3つのYELL!を意識した授業づくり】 (1) 誇れる学校 YELL! 温かい人間関係を育む授業 (2) 新たなことに「挑戦」する学校 YELL! ①「1人1プロジェクト」に挑戦 ②「神村100『人』教育 一ようこそ先輩一」の取組に挑戦 ③「3つのM」の取組に挑戦 ※Mとは「自ら考える」※3つとは「表現する子」「やりきる子」「関わり合う子」 (3) 信頼される学校 YELL! ①傾聴と温かい接遇 ②選択と集中</p>

## 福山市立神村小学校

年 目	中期経営 目標	重 点 分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
						□指標に係る 取組状況	達成 評価	改善 方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	達成 評価	総合 評価	改善 方策	
5	「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを進め、基礎学力の定着・向上と学び続ける力を向上させる。	★継続	「子ども主体の学び」を目指した授業づくりを通して、学ぶ意欲と学力向上を図る。	○2つの「教材研究」①児童のつまずきの分析②教材分析シートの作成の取組を通して、「主体的な学び」の授業づくりをする。	○2つの「教材研究」の取組をもとにした研究授業の実施(1人1授業) ・学年に応じた時間の家庭学習をしている児童85%以上 低:30分 中:40分 高:50分 ○「なぜだろう、やってみたいと思う」と回答する児童80%以上 ○学力調査で全国平均以上								
			「ほめて、認めて、励ます」指導で、体力向上を図る。	○体育の授業、体育的行事において、児童が主体的に学習する場面を設定し、主体的な姿を「ほめて、認めて、励ます」指導や声かけをする。	○「体育の授業や運動、スポーツをするのが楽しい」と回答する児童90%以上								
5	教職員が生き生きと働ける環境整備を行い、資質・能力を向上させる	継続	3つのYELL「誇れる学校」「新たなことに挑戦する学校」「信頼される学校」の実現に向け、主体的に取り組む教職員になる。【この目標を実現することで、働き方改革のねらいを達成していく】	○教職員が1人1プロジェクトを推進し、主体性を持ち、よりよい学校づくりに貢献する。  ○「神村100『人』教育ようこそ先輩」のねらいに沿った単元や授業を開発し実施する。	○「仕事にやりがいを感じている」と回答する教職員95%以上  ○新規の単元や授業での講師の招聘 1年~5年生 年間3つ以上 6年生 年間7つ以上								
5	児童の自己肯定感を高め、不登校の未然防止を図る。	★継続	温かい人間関係を育む授業づくり・支援を通して、自己肯定感の向上を図る。	○児童の設定した目標を達成させるための支援や手立てを行う。	○「3つのM」における児童の行動化に係る肯定的評価90%以上※Mとは「自ら考える」の頭文字 ※3つとは、「表現する子」「やりきる子」「関わり合う子」								

		<p>○「ほめて、認めて、励ます」指導に視点をおいた取組を推進する。</p> <p>○全学年で行う「あいさつ推進隊」によるあいさつ運動や、目に見える形での肯定的評価を通して、主体的にあいさつをする児童を育成する。</p>	<p>○長期欠席の児童を昨年度(13名)の80%以下</p> <p>○「先生は自分のよいところを認めてくれる」と回答する児童90%以上</p> <p>○「レベル4のあいさつ(相手の顔を見て、えしゃくしながら大きな声であいさつ)ができる」と回答する児童90%以上</p>								
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

#### IV 目標・取組評価指標等の設定と評価

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。